

このガイドでは操作の基本を簡単にご案内しています。ご使用の前に、取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

1 残さいを捨て 食器を入れる



あらかじめつけ置き・水洗いして取り除くもの

- 固いもの（ポンプの故障の原因）
つまようじ・魚の骨・輪ゴムなど
- 細かい残さい（再付着の原因）
七味・ゴマ・ふりかけ
- 魚の皮など（異臭の原因）
- 油の固まりなどのひどい汚れ（再付着の原因）



専用洗剤入れ

2 食器洗い乾燥機専用の 洗剤を入れる



必ず「専用洗剤入れ」に入れる

標準量目安 約5g

- 油汚れの多い場合（サラダオイル含む）
→標準量の約2倍

3 コースを選び、 押す



(ブザーが鳴ったら終了)

- 標準（食後すぐのときに）
 - 強力（数時間後や油汚れに）
 - スピーディ（軽い汚れをスピーディに）
 - ゆとり（電気代の節約に＊）
 - 低温ソフト（熱に弱い食器に）
 - 乾燥のみ（手洗いした食器の乾燥に）
 - 80℃すぎ（80℃のお湯ですすぎたいときに）
- ※各コースと組み合わせて使います。

(取扱説明書P.17)

4 庫内が冷えてから 残さいフィルターを そうじする



残さいフィルターの下に水が残りますが、排水ポンプの構造上、残るものであり、異常ではありません。



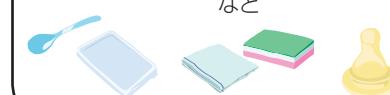
- 庫内のお手入れ
(取扱説明書P.18)

！ 注意

※ 消費電力量：「標準」コース約0.78kWh、「ゆとり」コース約0.63kWh
(社)日本電機工業会・自主基準「食器洗い乾燥機の性能測定方法（2008年3月5日改正）」による。
・洗いの最高温度：約45℃（標準コース約52℃）
・乾燥：送風乾燥（余熱を利用し、ヒーターに通電しないで乾燥）
・時間：標準コースの約2倍

- 写真は説明イメージのため、実際とは異なります。

- プラスチックの ● ふきん・ ● 哺乳瓶の ● 発泡スリップスプーン・ふた スポンジ 乳首 など
- チロール容器



※この他にも洗えないものがあります。
(取扱説明書P.10)

落ちない汚れ

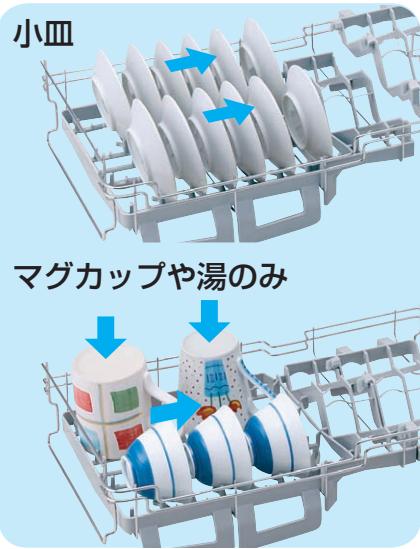
- 手洗いでも落としにくい汚れは、洗えません。
→汚れ部分をスポンジ等でこすり落とすと洗えます。



グラタンの焦げ付き なべの焦げ付き 茶わん蒸しのこびり付き

食器／調理器具を入れる

上かご



汚れた面は→方向に向ける
(向きが違うと、洗い上がりが悪くなります)

噴射水がよく当たるように汚れた面は斜め内側に傾けて置く

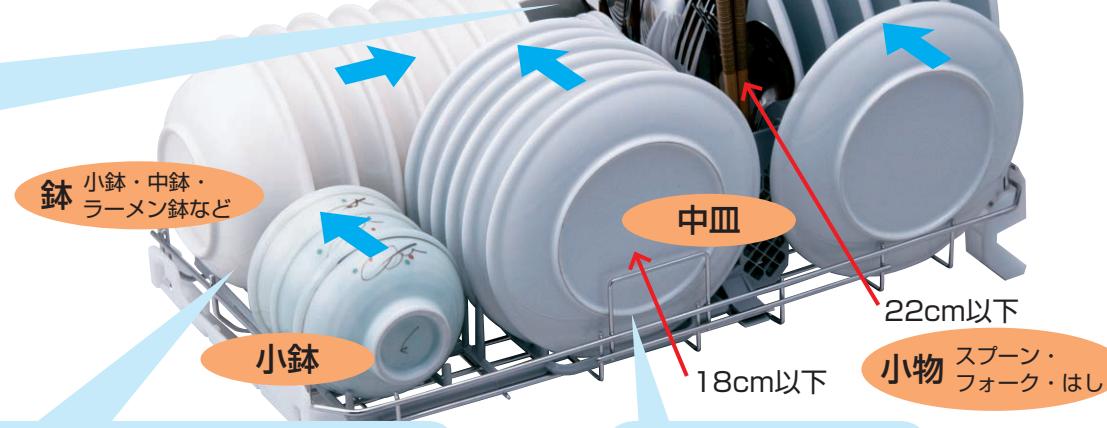


調理器具

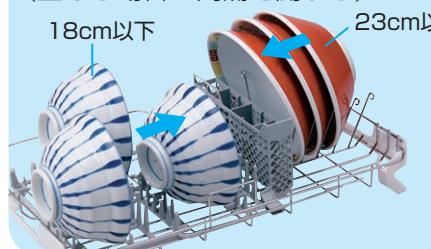


下かご

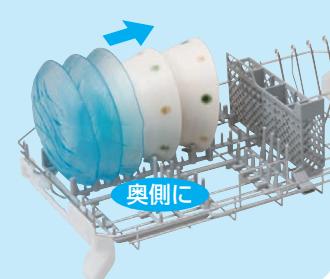
小皿 他の食器より先に入れる



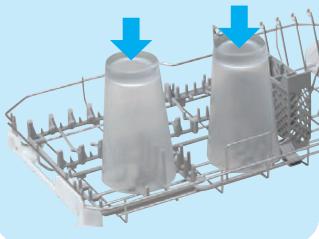
深い鉢 (ラーメン鉢など)
(重なる場合は間隔を開ける)



皿と鉢と一緒に



長いコップ
(16cm 以下)



片手なべ



おたま・さいばし

この部分より左側に寄せない
(落下する原因)



●詳しくは取扱説明書をご覧ください。